

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

外部評価の結果

調評	
全体を通して（特に良いと思われる点など）	
<ul style="list-style-type: none"> ・市街を見渡せる高台に建てられており、周囲に畑や渡り鳥の訪れる池もあり、季節の変化を感じ取れる自然に恵まれた環境にあります。 ・建物内は広々としており全居室が南側に配置され日当たりも良く、全体が明るく清潔で整理整頓されています。 ・屋内の床は木目調で、観葉植物などの鉢や季節を感じる手作りの作品が所々にセンス良く置かれ、ホールには入居者の行事時の写真も飾られており、落ち着いた雰囲気となっています。 ・階段の壁やおどり場に写真や絵画がたくさん掛けてあり、心豊かな気分を味わうことができます。2階のおどり場は面会時や相談コーナーとしても使えるように整えてあります。 ・入居者の表情が良く穏やかで生き生きとしておられ、それぞれの方の居場所もあり、笑顔も多く、入居者と職員が共に生活している雰囲気があります。 ・職員の年齢層に幅があり、声かけも穏やかでやさしく入居者のペースに合わせた支援がなされています。 ・玄関は夜間（19時～6時）は施錠されますが家族の訪問に時間制限はなく、随時の対応がなされています。 	
特に改善の余地があると思われる点	
<ul style="list-style-type: none"> ・1階、2階ともにホール入り口のドアを開閉する度にセンサー音が鳴るようにしてあります。音が施設をイメージさせる為、優しい音が出るような工夫はないのでしょうか。 ・職員の休憩場所が無いようなので、ミーティングや休憩に使える場所の確保が必要ではないかと思われます。 ・会議記録（ケアカンファレンス記録、ミーティング記録等）、ヒヤリハット報告書等の保存がなされていないようです。業務改善に活かすために、また実践の証としても今後、改善整備されることが必要かと思われます。 	

事業所名	グループホームひなぎく
日付	平成17年2月4日
評価機関名	社会福祉法人 岡山県社会福祉協議会
評価調査員	病院での認知症高齢者の看護・介護業務歴 36年 特別養護老人ホームでの認知症高齢者介護歴 4年
自主評価結果を見る（事業所の自主評価結果にリンクします）	
評価項目の内容を見る（岡山県の定めた評価項目へリンクします）	
事業者のコメントを見る（評価結果に対する事業者の改善状況についてコメントがあります！）	

運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か <ul style="list-style-type: none"> ・利用者個人の意思を尊重する。 ・利用者本位の質の高いサービスを提供する。 ・快適で生き甲斐ある生活の場を実現する。 ・常に最適な介護計画を設定し実行する。 ・家族との意思疎通をはかる。 以上をもとに入居者が家庭の延長として、それぞれの意思に添った生活ができるようなグループホームを目指しています。 職員は、穏やかで安らぐことのできる環境づくり、優しい声かけ、よりそうケア等について、常時、お互いに啓発しあっています。		

ケアサービス（つづき）

番号	項目	できている	要改善
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援		
23	痴呆の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か <ul style="list-style-type: none"> ・入居者の部屋の中から施錠ができ、夜間巡回時の開錠については、本人、家族の了解を得ています。 ・排泄支援などは、他の人に判らないような、さりげない誘導・介助を心掛けています。 ・それぞれの生活歴を大切に、染物をする、裁縫をする、食事後のランチョンマットを拭くなど自分で「できること」、「したいこと」をしていただける環境づくりに努めています。 		

生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間づくり		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の環境づくり		
4	建物の外周りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か 入居者のペースで、日常なじみのものに囲まれて暮らせるように、今までの生活の延長としての場の提供を心掛けています。 また、家族に訪問を促すよう働きかけ、入居者と家族とのふれあいを大切に、交流のある自由な空間づくりに努めています。		

ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人であることへの配慮		
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		

運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。 <ul style="list-style-type: none"> ・食事の準備、掃除、洗濯、買い物、散歩などを日常的に自然に共に行い、家庭の延長として入居者が穏やかに安心して暮らせる場の提供に努めています。 ・1階、2階がそれぞれ別の家庭という考えで食事の献立が別々で、入居者の希望も取り入れた魚・肉・野菜とバランスのとれた食事内容になるように努めています。 ・事故報告書は法人施設全体の問題としてとらえ、改善対応の徹底をはかっています。 ・職員は常に入居者のペースにあわせ、受容の態度で、感情的にならないような対応を心掛けています。 		